

みんなで探して発見！ 身近な自然

めぐろいきもの気象台
Tel: 03-5722-9359
Fax: 03-3792-2112
〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15
目黒区みどり公園課みどりの係



みんなの発見！ 2017年夏～秋



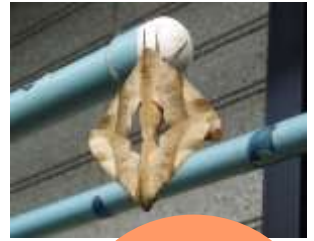
9月
ヒメアカタテハ
碑文谷公園にて
(中根二丁目
自然通信員)



8月14日
「家の庭でヒヨドリの
ヒナがかえり
巣立ちました！」
(柿の木坂一丁目
自然通信員)



～珍鳥！～
10月24日
アカショウビン
台風21号が去った
林試の森公園にて
(下目黒三丁目
自然通信員)



8月5日
トビイロズメの
カップルが…
(中町一丁目
自然通信員)



10月1日
ピロウドハマキ
(駒場四丁目
自然通信員)

南国から分布を
広げてきました！

シジュウカラ巣箱モニター

シジュウカラ巣箱モニターにご協力ありがとうございました。今年は9個の巣箱で巣作りをし、19羽以上が巣立ちました！
(写真：巣箱モニターなど)

《観察報告より》親鳥の出入りが始まったのを静かに見守っていて、声をするのを待っていましたが、実際は思っていたよりずっと小さな声だったので、気づいた時にそっと開けたらヒナがいて、卵がかえった時が正確にはわかりませんでした。GW明けには巣立ってしまい、かわいい姿はほとんど見られませんでした。



元気に
育ってね！



8月3日
カラスウリの花
(中目黒三丁目
自然通信員)



壁にぴとっ！

8月25日
イボバッタ
(南一丁目
自然通信員)



《観察報告より》親鳥はヒナが生まれた頃からヒナを守るため、あたりを監視(かんし)して、スズメを近づけないように、つねに鳴き声で威嚇(いかく)していた。

- 6月26日：鳴き方がかわってきた感じ、ややしっぺりした声、今まではピヨピヨか細い声
- 6月28日午後6時頃：小さな鳥が自宅周辺を飛んでいた

今年も新たに巣箱モニターにご参加いただける方を募集します♪詳しくはめぐろ区報1月15日号・区ホームページに掲載予定です！





土のいきもの住民会議 速報!

平成 29 年 11 月 18 日
東京工業大学 大岡山キャンパス

大東文化大学 環境創造学部准教授 橋本みのり先生の指導で開催しました。17 名の方々にご参加いただき、ミミズやムカデ、トビムシなど合計で 14 種のいきものを発見しました! 「土を豊かにする小さいいきものたちは大切です」と先生。

土採取



キャンパス内にある「ひょうたん池」のまわりで土を採取しました。

いきもの探し



採取した土を少しずつ白いバットに広げ、ピンセットや吸虫管(きゅうちゅうかん)を使っていきものをつかまえます。つかまえたいきものはアルコールに入れて動きをにぶくしておきます。



観察



小さくて観察しにくいものは、シャーレに入れて実体顕微鏡で観察しました。(右写真はヨコエビ) 落ち葉や枝などを分解し、土を作るいきものたちを観察することができました。

見つかった!!



発見したいきもの

- ・ヒメミミズ類 (2匹)
 - ・ムカデ類 (10匹)
 - ・ワラジムシ (7匹)
 - ・ヨコエビ (3匹)
 - ・トビムシ類 (5匹)
 - ・カメムシ類 (1匹)
 - ・キセルガイ類 (2個体)
 - ・ダンゴムシ (6匹)
 - ・ゾウムシ類 (1匹)
 - ・クモ類 (5匹)
 - ・ハサミムシ類 (2匹)
 - ・アリ類 (3匹)
- など

イベント情報

『空のいきもの発見隊』の開催が決定しました!

野鳥など空のいきものを調べよう! 公益財団法人日本野鳥の会から講師を招き、双眼鏡などの道具を使用しながらバードウォッチングの知識や自然観察のコツなどを学びます。ご家族での参加はもちろん、小学校高学年以上の方も大歓迎です! 開催日時や申し込み方法などの詳細は、めぐろ区報 1 月 15 日号・区ホームページに掲載予定です。皆様のご参加をお待ちしております!



屋上緑化のススメ ~みどり豊かな街を目指して~

屋上緑化には、ヒートアイランドを軽減したり、街にいきものを呼んだり多くの効果があるんだ! 屋上に土があるだけでも十分に省エネ効果があって、プランターを使った簡単な緑化でも効果は期待できるよ。みどり豊かな街を目指してみんなで取り組んでいこう!

シイ博士



目黒区総合庁舎屋上の『目黒十五庭』

『江戸東京野菜』を収穫しました!



目黒十五庭では、東京の伝統野菜『江戸東京野菜』を育てています。今年は、内藤唐辛子、内藤かぼちゃ、寺島なす、鳴子うりなどが収穫できました。

目黒十五庭でいきもの発見!



甲虫類の幼虫



コクワガタ



キアゲハの幼虫

屋上緑化助成があります!

- 助成対象 (ほかにも要件あり)
- ・敷地面積が 1000 m²未満
- ・最低 1.0 m²以上を新たに緑化(上空から見える部分)
- ※100L 未満のプランターなどによる植栽は対象外
- 助成内容 (1 件あたりの限度額: 20~30 万)
- 〈新植栽〉20,000~30,000 円/m²
- 〈既存樹木の移植〉1,000~10,000 円/本
- 〈縁石設置〉1,000 円/m
- 〈自動かん水装置設置〉2,000 円/m²

実践者にインタビュー

屋上緑化のコツは『無理しないこと』

駒場在住の佐久間さんにお話を伺いました。

一ご自宅の屋上を緑化しようと思われた理由を教えてください。

屋上緑化をすると家の中が涼しくなると考えたからです。もちろん少しでも自然を感じたいという思いもありました。

一屋上緑化をしてよかったことはありますか?

屋上緑化の下にあたる部屋は、夏は涼しく冬は暖かいです。冷暖房費が少なく済んで経済的にも助かっています。

一屋上緑化を管理する上でのポイントはありますか?

夏場の水やりの管理ですね。植物は種類によって必要な水の量が違います。自動かん水装置で定期的に水がまかれるようにしていますが、水を多く必要とする植物にとっては不十分のようです。当初は、畑で野菜を育てていましたが、あるときから畑はやめて、水やりが少なくても大丈夫なブルーベリーなど実のなる木に植え替えました。今では実を目当てに屋上に鳥がたくさんやってきました。

一屋上緑化を検討中の方へ一言お願いします。

屋上緑化のコツは無理をしないことだと思います。皆さんも難しく考えず、屋上緑化にトライしてほしいです。



佐久間さんのお家の屋上緑化